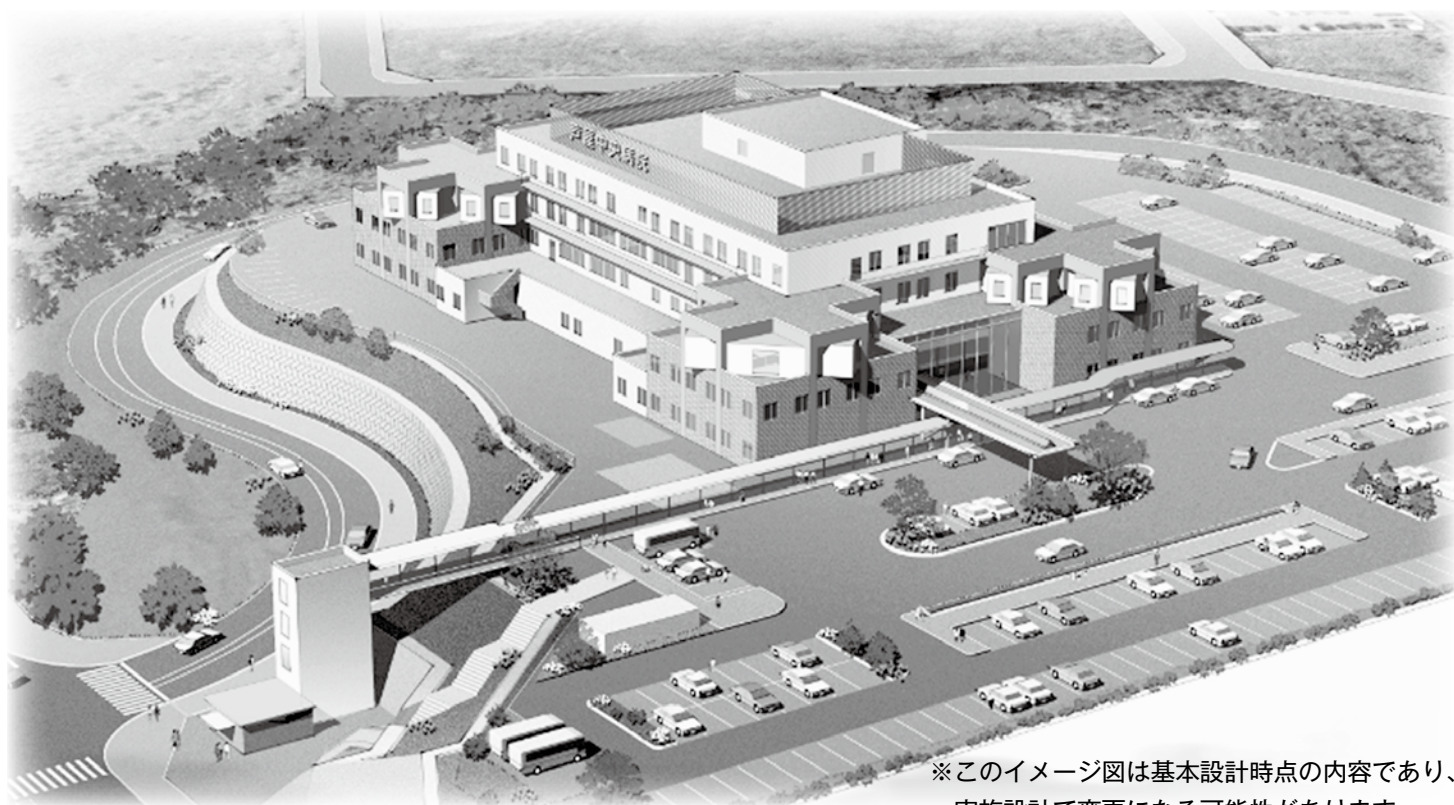


かけはし



※このイメージ図は基本設計時点の内容であり、
実施設計で変更になる可能性があります。

新病院の基本設計が完了しましたので、その概要についてお知らせします。

基本設計は、平成26年2月に策定した「町立芦屋中央病院新病院基本計画」で掲げた施設整備計画に基づき作成しました。

新病院は、一般病床90床（内科45床、外科45床）、療養病床32床、緩和ケア病床15床の合計137床です。現在と同じ病床数を確保した中で、住民のみなさんに必要な地域医療を確保し、安全で安心な病院の実現を目指します。

また、竹並・芦屋2号線（花美坂前の道路）から、歩行者や自転車が容易に来院できるようにエレベーター棟を設置する予定です。駐車場については、現在の220台から300台に増加し、ゆったりとしたスペースを確保することとしています。

現在実施設計を進めています。平成28年度には建設工事に着手し、平成30年5月の開院を予定しています。

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



新病院の基本設計の主な内容について

1 病院の規模(延床面積)について

昨年2月に策定した「新病院基本計画」では、施設の延床面積を12,800㎡としていました。

しかし、今回完成した基本設計では、新たに導入予定であるMRIや外来化学療法室、健診センターなどによる床面積増の要因はあるものの、医療機器のコンパクト化や内部動線の短縮化を図るとともに院内の諸室を使用目的や人数に基づく合理的な広さとする事で、約12,000㎡に縮小することができました。

2 エレベーター棟を設置します

主要道路(花美坂前の道路)から、歩行者や自転車が容易に来院できるようにエレベーター棟を設置します。エレベーター棟から病院まで連続する屋根を設けて雨天時の通行に配慮します。

3 個室的多床室を導入します

一般病棟の4床室は個室的多床室を採用します。それぞれのベッドサイドに1箇所ずつ窓を設け、眺望や採光、個々のプライバシーに配慮した快適な療養空間をつくります。

4 新たにMRIを導入します

現在の放射線検査機器に加え、さらに精密な画像診断が可能なMRIを導入します。

5 外来化学療法室を新設します

患者さんがゆったりと治療できるよう、リクライニングチェアを設置した化学療法専用の部屋を新設します。

6 緩和ケア病棟を導入します

年々高まっている終末期における医療ニーズに対応するため、新病院では緩和ケア病棟を導入し、がん患者さんなどの身体的・精神的な苦痛を和らげるケアを行います。

病室はすべて個室とし、付き添いのための家族宿泊室や共用で利用できるキッチンを設置します。

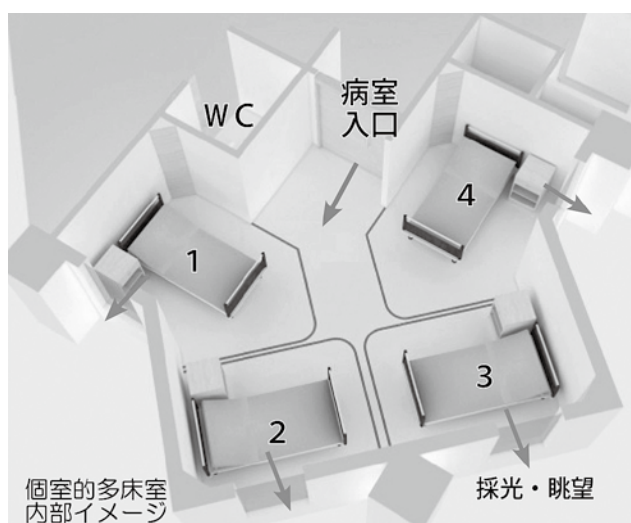
7 健診部門をセンター化します

これまでの芦屋中央病院の健診では、受診者の方に対して、採血などの多様な検査を受けるために病院内の各部門への移動をお願いしていました。新病院では1室で基礎健診が可能となるよう健診部門を集約させ、センター化します。また、放射線機器による検査はエレベーターでの上下移動のみとなるよう配慮します。

8 地域包括ケアを推進します

地域包括ケアの取り組みを推進するため、総合待合の前に地域医療連携、訪問看護、居宅介護支援、訪問リハビリ部門を結集して、地域との連携を強化します。

【個室的多床室のイメージ】



※芦屋中央病院建設工事基本設計(概要版)を芦屋中央病院のホームページに掲載していますので、併せてご覧ください(URL: <http://www.ashiya-central-hospital.jp>)。

新任医師の紹介



内科医師

たか き やす ひろ
高木 靖寛

《得意・専門分野》
食道、胃腸疾患の内視鏡診断と治療

平成27年4月より赴任いたしました高木靖寛と申します。海と川や緑などの豊富な自然に育まれた芦屋の地に赴任できることを大変嬉しく光栄に思います。

前職の福岡大学筑紫病院消化器内科では、食道を主とした消化管腫瘍や炎症性腸疾患の内視鏡診断と治療を行ってまいりました。今後は地域のみなさまのご要望に添えるよう、専門の消化器疾患のみならず内科疾患全般における診療で広くにお役に立てますよう頑張りたいと存じます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。



内科医師

ばん どう けん いち ろう
坂東 健一郎

《得意・専門分野》
腎疾患、透析治療

平成27年4月から赴任しました坂東と申します。

今までは、腎疾患や透析治療を主として内科診療を行ってまいりました。腎疾患は慢性疾患であることが多く、患者さんには食事制限などをお願いすることも多いですが、腎寿命や健康寿命の延長に貢献できるよう、微力ながら努力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



整形外科医師

さこ だ しん すけ
迫田 真輔

《得意・専門分野》
スポーツ整形外科、関節鏡手術（肩、肘、膝、足関節）の診断と治療

4月1日より整形外科にて勤務することになりました迫田真輔と申します。3月までは、産業医科大学若松病院で主にスポーツ外傷・障害の治療や予防に関わる仕事をしてきました。

また、これまで、大規模工場での産業医や整形外科単科の救急病院での勤務なども経験してきました。

芦屋中央病院では、これらの経験を生かして地域の様々な年代の方々に、より良い体のコンディションでより質の高い生活を送って頂けるよう、力になっていきたいと考えています。至らない点も多々あるかと思いますが、日々精進していきたいと考えています。よろしく願いいたします。

「スポーツ外傷・障害 専門外来」を開始しました

■ スポーツ外傷・障害 専門外来について

スポーツ活動によって生じた外傷や障害の治療を行います。スポーツへの早期復帰、再受傷や再発の予防、パフォーマンスの向上を主な目的とし、学生から高齢者までの幅広い年代におけるスポーツ活動をサポートします。

必要な方には手術もできますが、関節鏡を使って手術を行うことで、今までの手術と違い体への負担

が軽く回復にかかる日数も短くなります。症状が軽い方でも、専門家の診察を受けることにより原因が明らかになることがあります。

お気軽に診察をお受けください。

■ 当院で手術可能なスポーツ外傷・障害

- 【肩】肩関節脱臼、腱板断裂、関節唇損傷など
- 【ひじ】離断性骨軟骨炎、テニス肘、関節鼠、内側側副靱帯損傷など
- 【膝】前・後十字靱帯断裂、半月板損傷、膝蓋骨脱臼、オスグッド病など
- 【足】足関節外側不安定症、有痛性三角骨、関節鼠、ジョーンズ骨折など

○診 察 日 月曜日・火曜日・木曜日

※祝日および年末年始にあたる場合は休診

○受付時間 16時から17時まで（スポーツ外傷・障害 専門外来のみ受付します。）

○担当医師 整形外科 迫田 真輔

【所属学会】

日本整形外科学会／日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会／臨床スポーツ医学会／日本股関節学会／日本人工関節学会／日本肩関節学会

【資格】

日本整形外科学会専門医

日本体育協会公認スポーツドクター

【専門・得意分野】

スポーツ整形外科

関節鏡手術（肩、ひじ、膝、足関節）の診断と治療

※ 迫田医師の通常外来でも、スポーツ外傷・障害の診察を行います。

地方独立行政法人 芦屋中央病院外来診療担当表

平成27年10月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器科	午前	櫻井	大門	松嶋	池園	高木	消化器科、内科医師で交替 ※午前のみ
	午後	大門	炎症性腸疾患外来 ※予約のみ		池園		
内科	午前		呼吸器科 西尾		呼吸器科 西尾		
		高木	占部	大門・池園で交替	占部(高木)	櫻井	
		循環器科 高橋	循環器科 永田	循環器科 荒木	循環器科 大江	循環器科 村岡	
		糖尿病 元	肝臓病 日浦	糖尿病 森田		膠原病 佐藤	
	午後	占部	櫻井	占部	池園 神経内科 先成	占部	糖尿病 第1 成澤 第2 岡田 第3～5 成澤
小児科	午前	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 第2・4は休診
	午後	井上 女性専用	井上				
整形外科	午前	河野 迫田	迫田 弓指(第1・3・5) 森(第2・4)	河野 福田	河野 迫田	河野 米良(第1・3・5) 栗之丸(第2・4)	産医大派遣医師
	午後	迫田	弓指(第1・3・5) 森(第2・4)	福田	14:30～ 迫田	米良(第1・3・5) 栗之丸(第2・4)	
スポーツ外傷・障害専門外来		迫田	迫田		迫田		
外科	午前	井下	永渕	2人で交替	井下	永渕	2人で交替
	午後	永渕			井下		
眼科	午前			宮本			松下
耳鼻咽喉科	午前	休診中					
腎外来	午前	坂東		坂東	坂東	坂東	
C T ・ 超音波		小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂
心臓リハビリテーション		14:00～	13:00～	14:00～	14:00～	14:00～	

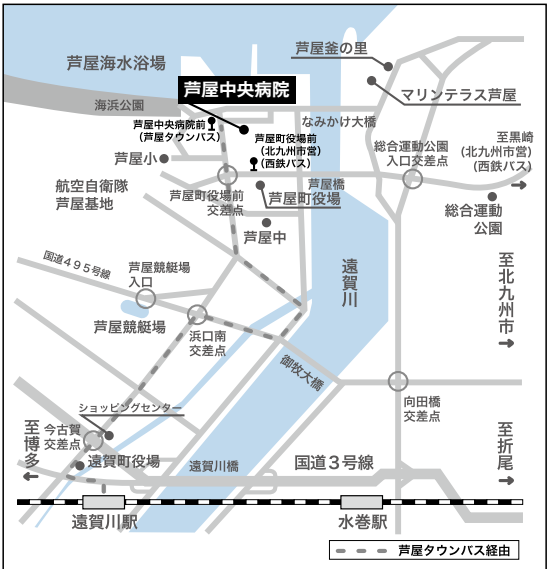
受付時間	午前〔月曜日～金曜日〕11:30まで〔土曜日〕11:00まで	午後 13:00～16:00
リハビリ受付時間	午前〔月曜日～金曜日〕11:30まで〔土曜日〕11:00まで	午後 13:00～18:00
スポーツ外傷・障害専門外来 受付時間	〔月曜日・火曜日・木曜日〕16:00から17:00まで	

お知らせ

芦屋中央病院では職員の募集を行っています。詳しくはホームページをご覧ください。なお、募集案内・申込書は芦屋中央病院総務係で配布しています。(ホームページからも取得できます。)

地方独立行政法人
芦屋中央病院

〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号
TEL 093-222-2931(代)
FAX 093-222-2176
FAX 093-223-0301(連携室)
e-mail hospital@town.ashiya.lg.jp
URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋中央病院前」はまゆう団地」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分